愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	教育の制度と経営		
担当者(Instructors)	松田 香南	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「教育の制度的・経営的側面とその今日的課題」をテーマとする。 日本の公教育制度および学校教育制度の歴史と基本的な枠組みを理解し、その具体的な取り組みを教育経営の視点から考察し、学校安全や地域との連携といった今日的課題を把握することにより、経営的視点をもつ専門的職業人の基礎を身につけることを目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	本科目は、講義形式のオンライン授業とする。その中では、教育裁判や教育改革を新聞記事等で示したり、教育問題事象を映像で紹介するなどして、実際に起きた事例を多く紹介していく。さらに、教育制度・経営をめぐる問題として、教育裁判、教育改革、学校事故などの事例から、そこに内在する問題点や課題に関する考察を深めるため、履修者同士のディスカッションを行い、さらに口頭発表によって、考察をできるだけ全体で共有する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要、公教育制度の理念と原理	(1)受講上のルールを確認する。(2)教育制度に関わる基本理念を確認する。(3) 教育制度・経営について学ぶ意義を理解する。	□
第2回	近代教育制度の成立：日本と諸外国の学校の誕生	子どもの発見から、教育制度の成立、学校の誕生に至る歴史やその後の展開について理解する。	□
第3回	公教育制度を構成する教育関係法規の基礎	(1)教育に関わる法体系を把握し、その中でもに上位に位置づく法規の基本原理を理解する。(2)関係法規の調べ方を身につける。	□
第4回	教育行政の理念と仕組み（１）：中央教育行政の組織と運営	中央教育行政の組織と運営に関して、(1)文部科学省の組織と役割について理解する。(2)各種審議会の役割について理解する。(3)日本における教育政策立案・実施プロセスについて理解する。	□
第5回	教育行政の理念と仕組み（２）：地方教育行政の組織と運営	地方教育行政の組織と運営に関して、(1)教育行政の地方自治について理解する。(2)教育委員会制度の歴史的展開と基本特性について理解する。(3)各地方で生じている裁判例を見ながら、教育委員会と学校の役割と課題について考察する。	□
第6回	教育行政の理念と仕組み（３）：教育制度をめぐる諸課題	教育制度をめぐる諸課題を取り上げ、その要因や解決策を議論する。	□
第7回	経営的視点から見た学校（１）：公教育の目的実現のための学校経営	(1)公教育を担う学校として、一条校の法的位置づけとその役割を理解する。(2)不登校問題を通して、義務教育の抱える課題とこれからの学校のあり方を議論する。	□
第8回	経営的視点から見た学校（２）：教育活動のPDCAサイクルと学校評価	(1)学校の教育活動に関わるものとして、学習指導要領や教科書に関わる制度を理解する。(2)教育活動の評価に関わる仕組みを理解する。	□
第9回	経営的視点から見た学校（３）：学級経営の仕組みと効果的な方法	(1)学級経営をめぐる、子どもと教師の関係について理解する。(2)その中で、子どもの権利と教師の権利のあり方を考察する。	□
第10回	経営的視点から見た学校（４）：教職員や学校外の関係者・機関との協働	(1)学校を組織する教職員のメンバーと構造を理解する。(2)学校外の関係者・機関と連携する、チーム学校の理念と課題を理解する。	□
第11回	地域の中の学校（１）：地域社会と学校の連携・協働	地域と学校を取り巻く教育問題事象から、地域社会と学校の連携・協働の事例を知り、その望ましいあり方を考察する。	□
第12回	地域の中の学校（２）：学校教育活動の意義及び方法	地域と学校を取り巻く教育問題事象から、学校教育活動の課題を分析し、よりよい実践の要件を考える。	□
第13回	学校安全の課題（１）：学校の管理下での事件、事故、災害の実情と学校安全の必要性	学校の管理下で生じ得る事件、事故、災害などの事例から、学校内の整備状況を把握し、残されている課題を考察する。	□

第14回	学校安全の課題（２）：学校安全に関する課題と安全管理・安全教育の取り組み	学校安全に関する課題と安全管理・安全教育の取り組みを理解する。	□
第15回	本授業のまとめ、地域連携と学校安全	講義内容を振り返り、学校が抱える様々な課題の解決に向けて、教師として取り組むべきことを自らの課題として考察する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業の前に、インターネットや配布資料等を用いて2時間程度の予習を行うこと。授業の内容については、前授業にて知らせることとする。授業後は、授業中にわからなかった単語や用語を辞書等で調べる、紹介した判例をインターネットで調べる、授業で紹介した本などを読む、授業で配布した資料や新聞記事等を参考に課題レポートを作成するなど、2時間程度の復習の時間を設けること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回授業最後の時間にリアクションペーパー記入の時間を設けるので、授業後に提出すること。リアクションペーパーの感想や質問等は、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 教職課程	1. 公教育制度の歴史とその基本原理や構造及び内在する課題を説明できる。 2. 学校や教育行政機関の役割の理解にもとづき経営的視点からその今日的課題を指摘できる。 3. 学校安全及び学校と地域の連携について取り組み事例を挙げ、意義と課題を分析できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		40%	40%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験（第15回目にチェックテストを実施）：40%
リアクションペーパー：20%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『教育小六法　2023年度版』学陽書房、2023年	9784313011991
2	『未来を創る教育制度論』北樹出版、2020年	978-4-7793-0620-4
3	『テキスト教育と教育行政』勁草書房、2015年	978-4-326-25107-0
4	『教育法の現代的争点』北樹出版、2014年	978-4-589-03560-8
5		